

大河原自治区の整備計画について。

平成20年度より行われてきた矢作川河畔林整備の平成24年度の対象箇所は、足助地区の大河原町です。平成19年度矢作川河畔林整備行動計画に基づき行われたワークショップでの意見交換を経て計画された、河畔林整備計画の内容をお伝えします。

平成24年度の

河畔林整備について

紹介します。



大河原川沿いの管理道



整備イメージ



整備イメージ

ワークショップ活動報告



▲ワークショップの状況

○整備の目標
繁茂した竹林を間伐し、道路から矢作川を望める景観とするとともに、対岸からの景観を改善する。
○具体的な整備内容
びつりと生い茂った竹を間伐・伐採するための管理道の整備を行つた後、順次周囲の竹を間伐し、皆が憩える広場などを整備する。
矢作川沿いとともに大河原川沿いにも管理道をつなげ、川面が見える景観を創出する。

○整備の目標
繁茂した竹林を間伐し、道路から矢作川を望める景観とするとともに、対岸からの景観を改善する。
○具体的な整備内容
びつりと生い茂った竹を間伐・伐採するための管理道の整備を行つた後、順次周囲の竹を間伐し、皆が憩える広場などを整備する。

平成24年度は大河原自治区での河畔林整備計画を話し合いました。今年2回のワークショップを開催し、良好な河畔林整備に向けての目標について、地域の皆さんと行政が共通認識し、具体的な整備の内容を決めました。

矢作川河畔林整備事業
おさみ

第11号

平成25年3月

河畔林整備の目標や進め方についてワークショップを開催しました。

現地状況の確認

矢作川を望める昔の風景を取り戻したい!
・・・密集しすぎた竹の状況を確認しました。

河畔林整備計画について話し合う前に、大河原自治会の役員の皆さまと現地を歩き、現在の竹の様子や、地形の状況を確認しました。

竹は矢作川の川岸までびっしりと生い茂り、足を踏み入れるのも困難な状況となっています。大河原町においても、他の地域が抱える竹の繁茂という問題が、まず取り組むべき大きな課題であるとの共通認識を持ちました。



▲密集した竹を踏み分けながら進みます。



▲矢作川の川岸まで生い茂った竹。



▲日の光が遮られた河畔林を前に集合。

今回ご紹介した河畔林整備は、地域の皆さまと話し合った整備目標に向けて、地域との共働により整備を行っていく予定です。

大河原町 河畔林の生き物

矢作川研究所では2006～2007年（平成18～19年度）にかけて、合併して新しく豊田市になった地域の矢作川河畔林で陸上生物の調査を行いました。大河原町の河畔林は主にマダケ林です。普通、管理されていないマダケ林の中は暗く、生き物の種類は少ないですが、なぜか大河原町のマダケ林では、希少種を含むたくさんの種類の動植物を確認することができました。こうした野生の生き物と人とが共存できる河畔林整備が望されます。



ハイタカ（国希少種）

ハト位の大きさのタカの仲間で、雌は雄の2倍の体重があります。小鳥や、ネズミなど小型のは乳類を捕食します。キックキックよく通る声で鳴きます。



ミサゴ（国危急種）

カラスより少し大きいタカの仲間で、岸辺や大木に大きな巣を作ります。水面を高くゆっくり飛び回り、魚を見つけると急降下して捕られます。



サシバ

カラスより少し大きいタカの仲間です。林縁の木から急降下してカエルやヘビ、昆虫類を捕食します。里山の生態系の頂点に立つ鳥です。



オシドリ（国希少種）

山地の川や湖を好み、近くの木の洞に巣を作ります。ドングリ類を好んで食べます。おしどり夫婦という言い回しがありますが、実はほぼ毎年繁殖の相手を変えているようです。



サクラバハンノキ（国準絶滅危惧種）

湿地に生えるハンノキの仲間で、葉の形が桜に似ていることからこの名前がついています。全国的に少なくなっている、湧き水の出る湿地の周辺に生える高木です。



ウワバミソウ

うわばみ（泡）がいそうな暗く湿った場所に生えることからこの名があります。若い茎はゆでたりすりつぶして食べられます。



ハナイカダ

初夏に葉の真ん中に淡い緑色の花が咲く様子を筏に見立てたのが名前の由来です。花の後は直径1cm位の黒い実があり、小鳥が好んで食べます。



お問い合わせ

矢作川河畔林整備事業についてのご意見、ご感想等あ気軽にご連絡ください。

豊田市 建設部 河川課

（計画担当：北村、伊藤）

でんわ:0565-34-6672 / FAX:0565-33-2460

（矢作川研究所：宮田、内田）

でんわ:0565-34-6860 / FAX:0565-34-6028

◆カワセミはコバルトグリーンの美しい鳥で、川辺や石の上からダイビングして、水中の魚や水生昆虫をとらえます。

◆「カわせみ」は、豊田市が行う矢作川河畔林整備事業において、カワセミのように川に接する機会の多い地域の皆さまの視点でとらえた意見をお知らせするために作成しました。

